

令和4年9月2日（金）午前9時発表

射水市記者発表資料

件名 射水市新湊博物館企画展「郷倉千靱・和子—遺品が伝える息づかい—」について
(担当 新湊博物館 学芸係)

このことについて、下記により開催しますので、取材・報道方よろしくお願ひ申し上げます。

記

【事業概要】

郷倉千靱（1892 [明治 25] ～1975 [昭和 50]）とその娘和子（1914 [大正 3] ～2016 [平成 28]）は、ともに射水市が全国に誇る日本画家で、日本美術院（院展）同人、日本藝術院会員となり、画壇に輝かしい足跡を残しました。

昨年の千靱命日にあたる10月25日、院展出品作の大下図や小下図、スケッチ、画材、アルバム、書簡など、二人の生前の息づかいを伝える数多くの品々をご遺族から本市に寄贈されました。本展覧会は、それらを選びすぐり、富山県内に所蔵の院展出品作を交えてご紹介するものです。

【主催】射水市新湊博物館

【後援】（一社）富山県芸術文化協会 富山県美術連合会 富山県日本画家連盟
（株）富山県人社 実業之富山社 射水ケーブルネットワーク（株）
（株）エフエムいみず 射水市芸術文化協会 射水市美術協会

【協賛】富山県民芸術文化祭実行委員会（県民芸術文化祭2022協賛事業）

【会期】令和4年9月16日（金）～11月27日（日）

【会場】射水市新湊博物館 企画展示室

【休館日】火曜日、祝日の翌日、9/24（土）開館、9/26（月）休館

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【観覧料】一般310（250）円、65歳以上又は障がいのある方150（120）円、中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金
／「孫とおでかけ支援事業」対象施設

◆関連行事

○開会式

日時：9月16日（金）午前10時

会場：当館エントランスホール

式次第：主催者等挨拶／来賓等紹介／テープカット／作品解説会

○その他

呈茶会（9月18日（日）、射水市芸術文化協会主催）、記念講演会（11月13日（日））他については別添リーフレットをご覧ください。

問合せ先

担当

射水市新湊博物館 学芸係

広報担当 松山／企画展担当 加治

TEL 0766-83-0800／FAX 0766-83-0802

E-mail : hakubutsu@city.imizu.lg.jp

富山県民芸術文化祭2022協賛事業
射水市新湊博物館 企画展

郷倉千靱・和子 — 遺品が伝える息づかい —



1



2



3



4



5



6



7

- 1 《庭と仔犬》
郷倉千靱、1953年、第6回日展、富山県美術館蔵
- 2 《生》
郷倉千靱、1975年頃、富山県立高岡工業高等学校
附属青井記念館美術館蔵
- 3 スケッチブック《西域資料》
郷倉千靱、当館蔵
- 4 刷毛と刷毛掛け
郷倉千靱、当館蔵
- 5 絵具箱
郷倉千靱、当館蔵
- 6 《連峰白鷺》
郷倉千靱、1975年、高岡市美術館蔵
- 7 《真昼》
郷倉和子、1957年、再興第42回院展、富山県美術館蔵

2022年
9月16日(金) ~ 11月27日(日)

開館時間 午前9時 ~ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)
休館日 火曜日、祝日の翌日 9月24日(土)は開館、9月26日(月)は休館

主催 射水市新湊博物館
後援 (一) 富山県芸術文化協会、富山県美術連合会、富山県日本画家連盟
射水市芸術文化協会、射水市美術協会、(株) 富山県人社、実業之富山社

協賛 射水ケーブルネットワーク(株)、(株) エフエムいみず
富山県民芸術文化祭実行委員会

郷倉千靱(1892[明治25]～1975[昭和50])とその娘・和子(1914[大正3]～2016[平成28])は、ともに射水市が全国に誇る日本画家で、日本美術院(院展)同人、日本藝術院会員となり、画壇に輝かしい足跡を残しました。

千靱は、富山県射水郡小杉町大字三ヶ村(現射水市三ヶ)に生まれ、東京美術学校(現東京藝術大学)日本画科を卒業しました。83歳で没するまで、自然や動植物への親愛の情、仏教への崇敬、中国や西域の神話への憧憬を込め、確かな写実と斬新な装飾性、明澄な色彩により、清麗温雅でロマンあふれる作品世界を築き上げました。

和子は、東京府東京市下谷区(現東京都台東区)谷中に生まれ、女子美術専門学校(現女子美術大学)日本画科卒業の翌年に院展で初入選し、以後、101歳の天寿を全うするまで発表を続けました。一貫して花鳥を題材とするも、日本画の伝統に基づく様式と繊細、理知的な筆致から、西洋画の要素を取り入れた大胆な構図と華麗な色彩へ、さらには梅や日本家屋などの穏やかで滋味深い写生へと画風を変え、独自の高雅な境地を拓きました。文化功労者のほか、父の故郷・小杉町で名誉町民(現射水市名誉市民)として顕彰されました。

昨年の千靱命日にあたる10月25日、作品の大小図や小下図、スケッチ、画材、アルバム、書簡など、二人の生前の息づかいを伝える数多くの品々をご遺族から本市に寄贈されました。本展示会は、それらを選びすぐり、富山県内に所蔵の院展出品作を交えてご紹介するものです。



1



2



3



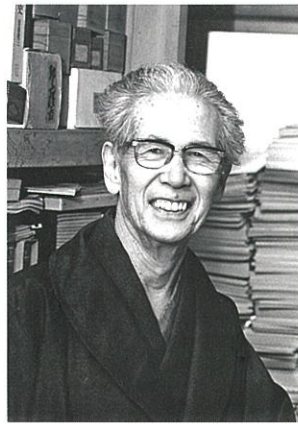
4



5



7



8



6

- 1 飾扇《壽く》
郷倉和子、2011年
- 2 第6回日展《庭と仔犬》
大下図、郷倉千靱、1953年
- 3 再興第42回院展《雪鷹図》
大下図、郷倉千靱、1957年
- 4 再興第48回院展《母神》
大下図、郷倉千靱、1963年
- 5 書額《和》
和宗総本山四天王寺管長・出口常順
- 6 扁額《草樹荘》
- 7 郷倉和子肖像写真
- 8 郷倉千靱肖像写真

以上、当館蔵

記念講演会

「郷倉千靱と郷倉和子の人と作品(仮題)」

浅地 豊氏 秋水美術館館長
八木 宏昌氏 富山県美術館主幹・学芸課長

11月13日(日)午後1時30分～3時
当館ガイダンスルーム

講演終了後、展示解説会があります

- 要事前申込 ●定員20名 ●先着順 ●参加無料
- ※詳細は『広報いみず』、当館HPをご覧ください

当館学芸員による 展示解説会

9月17日(土)・24日(土)

10月15日(土)・22日(土)

11月5日(土)・19(土)・23日(水・祝)

各日 午後1時30分～2時

- 要事前申込 ●定員10名 ●先着順
- ※詳細は『広報いみず』、当館HPをご覧ください

呈茶会

人間国宝第1号・石黒宗麿の茶碗で
心とむひとときを

9月18日(日)午前10時～午後3時
当館休憩ラウンジ

主催：射水市芸術文化協会茶道部

- 事前申込不要 ●呈茶券 大人500円
- ※詳細は『広報いみず』、当館HPをご覧ください

ご案内

交通案内

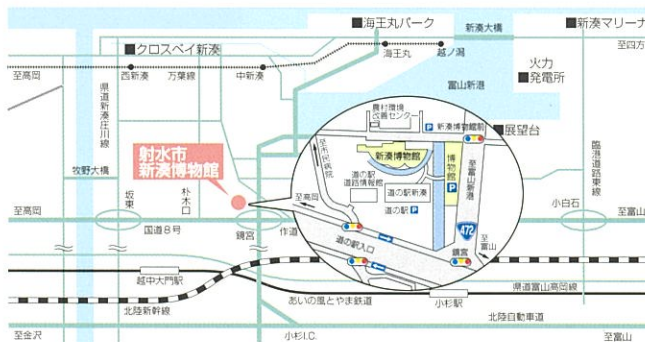
- ・万葉線中新湊駅からタクシーで約6分
 - ・あいの風とやま鉄道小杉駅からタクシーで約10分
 - ・北陸道小杉インターから北へ直進6.5キロ、約10分
- *道の駅「カモンパーク新湊」北側に隣接

観覧料

※障がいのある方の付添1名無料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	310円	250円
65歳以上の方 障がいのある方	150円	120円
中学生以下	無料	

※「孫とおでかけ支援事業」対象施設です



次回の企画展

小杉焼に魅せられて

2022年

12月2日(金)

2023年

～2月12日(日)